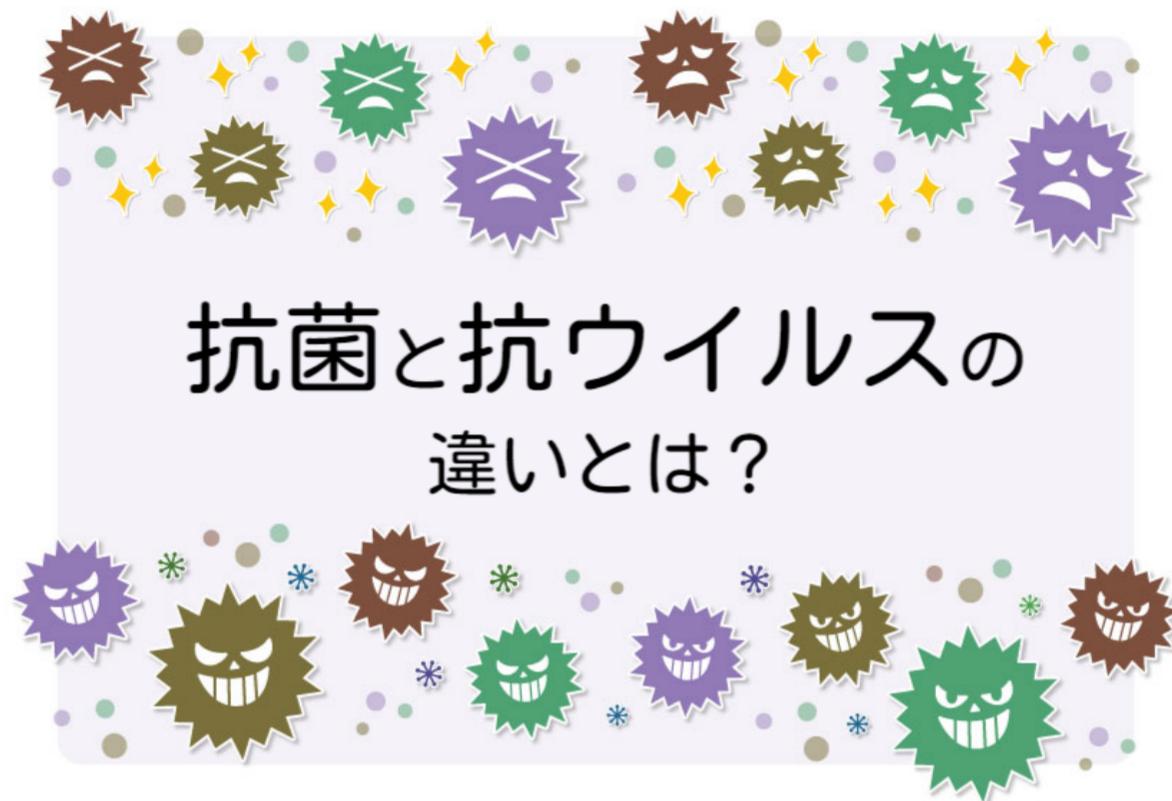


いつもお世話になっております。

三和総合印刷のメルマガ担当より弊社の新商品などの最新情報のほか、販促に役立つ情報などをメールマガジンにてお届けします。

知っているようで知らない！？

## 「抗菌」と「抗ウイルス」の違いについて ざっくりまとめてみました



最近多くの製品や印刷物などで「抗菌」や「抗ウイルス」の文字を見かけるようになりました。人が触れる部分に抗菌加工や抗ウイルス加工されていると、なんとなく安心安全なイメージがありますよね。

実は抗菌と抗ウイルスは全く別のもので、理解を深め正しく使用しないとせっかくの予防効果を活かせません。そこで今回は抗菌と抗ウイルスについての情報を集め、それぞれの特性についてざっくりとまとめてみました。

そもそも細菌とウイルスの違いは何でしょう？

### ●細菌とウイルスの違い

「細菌」とは「最も小さな生物」でバクテリアとも呼ばれます。大腸菌、乳酸菌、納豆菌などは細菌の仲間です。生物はどんなに小さくても「細胞」からできていて、細胞は栄養分があれば自力で細胞分裂を繰り返し増殖することができます。

一方で、コロナウイルスなどの「ウイルス」は細胞ではないため、自力で増殖する機能が無く、人や動物など別の生物の細胞の中でしか増殖することができません。大きさの違いも桁違いで、細菌でも電子顕微鏡で何千倍も拡大しなければくっきり見えない大きさですが、ウイルスはさらに10分の1から100分の1ほどの大きさです。

では、抗菌と抗ウイルスの違いは何でしょう・・・？